



平成22年 5月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
視点・声・べんべん草	こどもの詩・俳句・短歌	なかまたち・すぼっと・スポーツ	草餅・桜餅をつくらう	みんな仲良く 埋蔵文化財	公民館関係組織構成	平成22年度公民館事業 スタート(本館3部)



まつかわ百景 ④1

花桃に雪 (上新井)

天候の不順が巷の話題となっている昨今だが、この日は満開の花桃に雪が積もった。しかし陽春の太陽が顔をのぞかせると、あっという間に溶けてなくなった。

松川青年の家は昭和53年4月の開設以来平成21年度まで、県の施設として研修活動や地域や家族のふれあいを目的として運営されていきました。この4月1日から松川町が指定管理者として管理運営を行うようになってまいりました。今まで少し違ったイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、今後町の他の施設同様お気軽にご利用を頂くようお願いいたします。

青年の家は研修施設ですが、おおむね5人以上の家族やグループ・団体・学校・企業などの研修、バスケットボール・バレーボール・バトミントン・サッカー・ソフトボールなどのスポーツ活動や、キャンプなどの野外活動を行うための施設が整っており、大変自然環境に恵まれています。

主張

松川青年の家のご案内

大変豊かな自然の中にある松川青年の家は、中央自動車道松川インターから車で5分ほどの立地のいい場所にあり、県内外の皆さんとの交流の場としての期待もされています。また清流苑や温水プールにも近く色々な楽しみ方が出来ます。

団体や企業などが行う研修場として利用する場合もありますが、要望により松川青年の家のプログラムによる研修のお手伝いも行えるよう準備を進めています。また、『松川プログラム』と言います松川青年の家が独自に企業運営をする野草や木々、野鳥の観察会や山菜の教室、マレットゴルフ大会等のプログラムを用意して、自然観察採取、運動、制作、食文化等の皆さまのご要望に沿った充実した事業を行って参りたいと考えております。機会あるごとに公民館報などで、参加募集をしますので、家族、PTA等の団体、職場の皆様ふるってご参加をお願いいたします。

繰り返しになります。松川青年の家の周辺は赤松や杉の林に囲まれており、湧水も多く、思わぬ動物や鳥や植物や昆虫に会う機会も大変多い事と思えます。大切な自然を生かした有意義な活動が行える施設になりますよう、町民の皆さまのご協力をお願いし、青年の家開所のご挨拶にさせていただきます。

松川青年の家所長
熊岡正志

平成22年度

公民館事業スタート

新年度を迎え

体育部長 塚本 聡

新年度体制がスタートし一ヶ月が経ち、公民館活動もいよいよ本格的に始まりました。

本年度は新たに2名の新入部員を迎え、本館体育部がスタート致しました。戸惑いもあるかと思いますが、公民館活動を理解して頂き力を合わせていきたいと思えます。

さて、今年度も今までの体育部事業に加え、昨年より行つ



ワンバウンド ふらば～る バレー
どちらに弾むかわからない変形ボールにふりまわされます。(昨年度のスポーツフェスティバルより)

ております。軽スポーツ普及教室を引き続き行つてまいります。この試みは「新しいスポーツを地区館または自治会等で行いたい」「ルール等が分からない」とか「いつものスポーツ大会の時にデモンストレーション的に行いたい」など、本館体育部が新たなスポーツを普及させて頂く場をお借りするとともに、各団体の発展の足がかりになればとの思いで始め、昨年度は2団体からの要請がありお邪魔させて頂きました。今年度も是非ご利用頂きたいと思えます。

恒例行事となりました駅伝大会も例年通り行います。昨年は新型インフルエンザの影響により中止も視野に入れたが、からの大会でありましたが、多くの方のご協力により無事開催に至りました。今年度も関係各位の皆様が変わらぬご支援をお願い致します。

また、スポーツフェスティバルやトランポリン教室、ファミリー登山など、親子で参加出来る事業も多く計画して

おります。御家族での参加、また、お友達を誘つての参加をお待ちしております。

公民館の「今」を伝えたい

編集部長 三島 真理子

公民館の今を「町民の視点で」町民の皆様へ伝えたい：編集部では部員各自の取材活動と月2回程度の会議を行い、毎月の公民館報を作成しております。

月1回発行・8ページの紙面の形はここ20年ほど変わっていませんが、時代の流れとともにサイズはA4になり、広報との合冊となりました。

この数年で携帯電話・インターネットの普及は更に進みました。膨大な情報が瞬時にやり取りできるようになり、私たちの働き方や学び方、家庭生活に恩恵と影響を与え続けております。館報創刊当時（昭和31年）とは町民の生活も随分変化したことでしょう。今後の公民館報の在り方につ

いても今一度検討していく必要があるかと思えます。部員一同、読みやすく親しまれる館報作り心がけて編集しておりますが、読者の皆様からの御意見・提案を心よりお待ちしております。

今年度も昨年同様、公民館を舞台に展開する町民の皆さんの活動を取材にうかがいます。また原稿の執筆をお願いする場合があります。ご協力よろしくお願ひいたします。

あいさつから始まる地域づくり

社会部長 矢澤 恵樹

新年度を迎え、平成22年度の公民館事業が新たなスタートを切りました。私達本館社会部では、今年度の年間テーマを、昨年に引き続き「住みよい環境づくり」～あいさつから始まる地域づくり～としました。

平成15年より公民館社会部では、世代間を超えた地域のつながりの第一歩として、大人から子どもに、子どもから大人に、自然とあいさつが出来る地域を目指し、あいさつ運動に取り組んできました。具体的な活動として年間を通じて毎月1回「街頭あいさつ運

動」を行つていきます。この運動は当初、私共社会部のみで始めた事業だったのですが、近年では本館3部、地区公民館や様々な団体の方々のご協力を頂き、各地区にて同様の運動を行つて頂いています。あいさつは、心のかような家庭づくりや地域の人的なつながりをつくる大切なものであり、人と人とのコミュニケーションの原点です。最初は小さな運動からスタートしたのですが、この運動を続けることにより、公民館を発信として元気なあいさつが地域の広がり、また地域の活性化につながるよう、運動を推進していきたいと思えます。この他にも成人講座、人形劇場、映画会、音楽祭、また公民館研究会などで環境問題に対する取組みを計画しています。これらの行事も幅広い世代の皆様に興味を持って参加していただけるよう、内容を企画していきたいと考えていますので、ぜひ町民の皆様の交流の場、学びの場として活用していただきたいと思えます。今年度も社会部一同、今を考え、未来を見据えて、より積極的に活動していきたいと思えますので、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

22年度 公民館関係の組織構成

教育委員

委員長 片桐 一美(諏訪形)
 職務代理 橋場正農夫(中山)
 委員 高坂美千代(城北)
 委員 湯澤 徳晴(増野)
 教育長 松村 直彦(古町北部)

社会教育委員

委員長 堤 久(古町中部)
 副委員長 大澤 美子(上町)
 委員 福沢 貞和(中山)
 委員 佐藤 清(滝ノ沢)
 委員 佐々木順子(宗源原)
 委員 山田 淑子(堤原)
 委員 南波 洋子(東小学校)

公民館運営審議会委員

会長 深津 徹(社議)
 会長代理 堤 久(社教委員)
 委員 松下 敏彦(議)
 委員 橋都 洋治(中央小学校)
 委員 五味 一男(北小学校)
 委員 片桐 邦子(女団連)
 委員 山田 俊文(社協)
 委員 林 宣行(東PTA)
 委員 北原 和人(北PTA)
 委員 佐々木順子(社教委員)
 委員 佐藤 清(社教委員)
 委員 神村 憲好(体育協会)
 委員 平澤 充人(文化協会)

委員 溝口 邦雄(学識経験)
 委員 林 秀弘(学識経験)

体育指導委員

委員長 宮下 明(宗源原)
 委員 唐沢 敏行(部奈)
 委員 池野 妙子(宮坂)
 委員 宮下 剛彦(榎原)
 委員 米山 春彦(大沢北部)
 委員 小澤由美子(下垣外北部)

本館部員

〈社会部〉
 部長 矢澤 恵樹(松川)
 副部長 大場 将博(堤原)
 部員 小島 慎司(中央第二)
 部員 奥田 茂(堤原)
 部員 湯澤 秀樹(増野)
 部員 水野耕一郎(桑園東部)
 部員 吉川 佳弘(大沢北部)
 部員 堀木 拓也(下垣外南部)
 部員 小林 鉄也(清北)
 部員 伊藤 卓哉(滝ノ沢)
 部長 三島真理子(古町北部)
 副部長 大久保康司(中荒町)
 部員 宮下 徹(弥久司)
 部員 宮下 和子(上町)
 部員 坂本 美帆(福沢)
 部員 宮崎亜希子(馬坂)
 部員 光澤 正之(清泉地一)
 部員 松下 佳史(城北)

部員 大東 洋文(榎原)
 部員 久保田さち子(広小路)
 〈体育部〉
 部長 塚本 聡(上町)
 副部長 宮脇 俊典(新井南部)
 部員 宮沢 武彦(中山)
 部員 神田 康憲(上町)
 部員 大島 崇(古町東部)
 部員 米山 愛堤(原)
 部員 嵐 雅俊(本町)
 部員 小沢真奈美(東浦)
 部員 高坂 政憲(中ノ村)
 部員 高坂秀太郎(城北)

地区協議会

〔大島地区〕

協議会長 南端 照雄(城北)
 主事 市岡 智(古町中部)
 主事補 小木曾 剛(桑園北部)

〔上片桐地区〕

協議会長 大澤 健利(大栢)
 主事 竹村 敏典(鶴部)
 主事補 森岡 康男(清北)

〔生田地区〕

協議会長 福与 邦夫(福与福沢)
 主事 松下 聡(長峰)
 主事補 下平 正明(部奈)

教育委員会事務局

(生涯学習課関連)

教育長兼図書館長兼資料館長 松村 直彦
 生涯学習課長兼文教施設係長 兼松川青年の家所長 熊岡 正志

地区公民館役員

地区館名	館長(計)	副館長(会)	主事	主事補	社会部		体育部	
					部長	副部長	部長	副部長
古町地区公民館	三島 崇		福与中島	目幸裕	丹羽正宣	下井正人	大島純一	杉山律之
上新井地区公民館	菅沼 芳彦		中島山	正男敏	佐々木保	上久保晃成	平野竜也	間瀬智一
名子地区公民館	南端 照雄		下井八森	昭二俊樹	松下啓介	森脇進	松崎信宏	佐々木広明
上大島地区公民館	坂井 良紀		白沢齊藤	順司健幸	北沢秀公	宮下泰彦	竹村隆	荻原太一
上片桐地区公民館	大澤(大場)	健利(清隆)	竹村森岡	敏典(康男)	宮沢正秋	矢澤宏司	川上智明	川上一雄
福与地区公民館	福与(大倉)	邦夫(篤志)	寺澤	一郎	切石博孝	久保田智	宮沢勝久	松村盛充
生東地区公民館	小椋 吉範		遠藤(下沢)	健二(博高)	大森文裕	木下昌浩	清水陽治	松下善幸
部奈地区公民館	唐沢(林)	邦博(宗行)	中島	宏	北林長	林利文	伊藤孝美	下平和実

社会教育施設管理

宮下 義雄
 小平 純久
 佐藤友美子

公民館主事

矢沢 秀子
 清田 洋子
 酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦

公民館主事

酒井 幸則
 新井 直彦



松川町産の食材で、端午の節句の定番「柏餅」を作ろう！と企画が決まりました。ところが、松川町内には柏が自生していないことが判明。計画を変更し、草餅と桜餅に挑戦してみました。

今回使用した材料

- 上片桐産うるち米
- 上片桐産アズキ
- 古町産ヨモギ（天然物）
- 生田産サクラの花塩漬け
- △ 国内産砂糖
- △ 国内産食紅

前日に行った下ごしらえ

- ・ 米を水に浸し給水させ水気を切る
- ・ アズキを煮てつぶ餡を作る
- ・ 小豆 300g とかぶるくらいの水をなべに入れ水を足しつつ煮ます。煮立ったら砂糖 600g を入れて煮ます。冷まして出来上がり。砂糖を入れたら、混ぜないのがポイント。



つぶあん



新鮮なヨモギ

・ ヨモギをタンサン（重曹）を入れたお湯で茹でて冷まします。ザルにあげ水気を切ります。

当日

まずは米粉を作ります。米は家庭用食品粉碎机（ミルサー）で粉にしましたが、少し粒が残ってしまつたので完全な粉末になるまですり鉢ですりました。

草餅

・ 米粉を 200g に熱湯 200g を加えて混ぜた後蒸し器で蒸します。



生地をむしていきます

- ・ 茹でたヨモギ 80g を細かく刻みます
- ・ 蒸しあがった餅生地をヨモギと一緒にすりこ木でつき、手で触れる程度にさめたら練りこんでいきます
- ・ つぶ餡は適度な大きさに丸めておきます



ヨモギを混ぜてつきます



うまくつつめるかな？

・ 餡がはみ出さない様に上手に包みましょう。餅が冷めると伸びなくなり包みづらくなります。

桜餅

- ・ サクラの花塩漬けを水にさらして塩抜きをします
- ・ 米粉 100g に水 160cc と砂糖 10g を加えて溶いた後 2 つのボウルに分け、一方に食紅で色をつけます
- ・ 桜餅は江戸風の長命寺餅です。テフロン加工のフライパンで楕円形に薄く焼きます



ひっくりかえすのがむずかしい

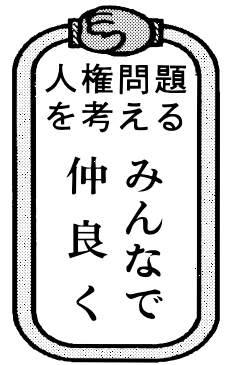


形もいろいろ、たくさん出来ました

まとめ

思ったよりも簡単に作る事が出来ました。みなさんもご家族でチャレンジしてみてくださいいかがでしょうか！

- ・ つぶ餡は適度な大きさに丸めておきます
- ・ サクラの花の水気をしぼります
- ・ 焼きあがった生地で餡を包みサクラの花を飾り完成です



みんながつながる心の輪

東小 6年 松澤孝太

あいさつをしよう

みんなと遊ぼう

みんなの気持ちを考えよう

思いやりの心をもとう

こうすれば

みんなの心がつながる

まずは

ぼくからつながろう

ずっとずっと

つながりを作って

大きな心の輪を

作っていこう

心はじしやく

東小 6年 市岡成親

心はじしやく

友達と仲よく遊ぶ時

N極とS極

友達とけんかした時

N極とN極

S極とS極

ぼくは友達とずっとN極とS

極でいたい

ずっと

ずっと

N極とS極で

明るい心

東小 6年 松下光帆

私はいつも笑っていたい

笑っていればリレーのように

どんどんみんなが笑顔になる

みーんなで校庭に

笑いの花をさかせたい

いつまでもさいているような

大きい花をさかせたい

できれば

地球全体に

笑いの花をさかせたいなあ

まずは私から

笑っていたい

みんなできれば

東小 5年 本塩竜哉

さみしい友達がいたら

一緒に遊び

泣いている友達がいたら

わけを聞き

笑顔にする

みんなできれば

みんな心が

みがかれる

明るい心

東小 5年 大栗知華

私の心が明るいと

みんなの心も明るくなる

なんでかな

あつ分かった

みんなが私の心を

見ているからだ

友達が悲しい時は私の心で明るくする

そのためには

私の心が

明るくないといけない

だから

ずっと

明るく生きていこう

友達っていいな

東小 5年 遠藤あんり

わたしがこまっているときに

声をかけてくれる

助けてくれる

友達がいつしよにいてくれる

わたしはうれしい

だからわたしが

おんがえし

みんなの心

東小 5年 橋場 萌

おたがいの心の中を考えると

人にやさしくする

心をもちたい

わるい心やきずつける心から

やさしい心や美しい心へ

どんどん変わっていく

みんなの心

自分の心ってなんだろう

みんなの心ってなんだろう

それを考えるのが

私

松川町の文化財

(369) 埋蔵文化財 (267)

文化財シリーズ

大島城(32)

守備軍が焼いた大島城と焼き米

教育委員会 酒井幸則

織田軍来攻時、大島城は焼けたことが諸書に記録されています。大島城が焼けたのは戦闘によって焼けたのではなく、前夜、守備軍が城を放棄して撤退するとき、自ら火を放ったのが事実で、それも本丸だけのようです。城を敵に取られて利用されるよりは、自ら焼いて城を使わせないようにする方法は撤退時にはよく採られたものです。城が焼けている様子は地表下20〜30センチほどの当時の生活面が焼けており、焼土や木炭等が多量に分布していることから知られます。

大島城は「焼き米」が出る城として知られてきました。今でも春先など、本丸の土が凍みで盛り上がったところや、木の根元などの部分から、ネズミのウンコほどの大きさの炭になった米粒がみられます。このような焼けた米は本丸入り口と奥まった部分の二箇所

から集中的に出土します。米粒を観察すると、粉殻は付いていないところから玄米が焼けたものとみられます。織田軍の来攻時、籠城用に本丸まで米を運び入れた緊迫した状況が窺われます。大量の米を敵に取られるのを恐れ、撤退時に城に火をつけたものともみられます。

ある書物によると、保存のために米を焼いたものが残っているともありますが、まるで炭化しきつっている米粒は、保存というよりは意図的に焼却処分されたとみる方が自然です。

大量の米を本丸に運び入れ織田軍に対峙した大島守備軍も、飯田落城を聞いて戦意を喪失し、城に火を放ち、夜陰に乗じて逃亡したのでした。



雨の中スタート 松川町はゼッケン33

町の部 4連覇

第20回長野県市町村対抗

駅伝競走大会

第20回長野県市町村対抗駅伝競走大会が4月29日(木)に、松本市で行われました。

松本平広域公園陸上競技場を発着とし、42・195kmを9区間に分け、競いました。

松川町のチームは、町の部で4連覇を達成。総合でも昨年より順位を2つ上げ、5位となりました。

松川町チーム結果

総合 5 位

町の部 優勝

記録 2時間17分43秒

区	選手	距離	記録
1区	辻村夏奈子	(2・7 km)	10分17秒
2区	熊谷 皐	(3・1 km)	9分32秒
3区	代田 修平	(5・8 km)	18分36秒
4区	原 武司	(6・2 km)	18分38秒
5区	遠藤 千有	(3・1 km)	9分50秒
6区	小池 隼人	(5・8 km)	20分15秒
7区	矢野 圭吾	(6・2 km)	18分48秒
8区	矢野 結香	(4・4 km)	16分6秒
9区	松山 克敏	(4・895 km)	15分41秒

個人成績



小学生チーム 選手・監督のみなさん

第6回 長野県市町村対抗

小学生駅伝競走大会

同日、第6回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会が松本平広域公園陸上競技場で行われました。

6kmを1・5kmずつの4区間に分けて競いました。

松川町チームの結果は次の通りです。

結果

総合	町の部	記録	出場選手
17位	6位	22分39秒	山岸鈴加 (6年)
			松下哲也 (5年)
			熊谷有紗 (6年)
			高田泰彦 (5年)



松川町選手団
選手・監督・コーチのみなさん

なまなま今

10年の節目を迎えて

松川吹奏楽団



松川吹奏楽団の皆さん
(昨年の松川町音楽祭)

楽団結成は平成12年7月9日。きっかけはPTA行事で子ども達の発表を見ていたお母さんの言葉。

「私達も何か出来ること無
いかなあ」

ここから町内、豊丘村、高森町、飯田市の32人が集まり松川吹奏楽団が結成されることになったそうです。

団員のほとんどが中学校、高校で吹奏楽経験者ですが、初心者が入団もあつたそうです。

楽団の活動は年1回の定期演奏会、毎年お世話になって
いる松川町音楽祭、町内のイベントへの参加など。昨年の

「ほたるの里づくり」は
「夏場に訪れる宿泊客に、ホタルの乱舞する姿を見
てもらい、自然が保護さ
れている南信州の素晴らしさ
をPRしたい」との思いで2
005年にスタートしました。

今年、10周年を迎える松川吹奏楽団。毎週2回、松川中学校音楽室で行われる練習前のお時間をいただき、代表の中島さんから10周年を迎えるお気持ちなどを伺いました。

すぽと 幻想的な光の乱舞

「ほたるの里づくり」は「夏場に訪れる宿泊客に、ホタルの乱舞する姿を見
てもらい、自然が保護さ
れている南信州の素晴らしさ
をPRしたい」との思いで2
005年にスタートしました。

「ほたるの息に必要不可欠なカワニナ。昔は、どこの田
甸く7月上旬。時間帯も20時

11月は伊那谷文化芸術祭へ、先日5月4日には飯田市での「オーケストラと友に」通称オケ友の「そよ風☆コンサート」に参加されるなど精力的に活動されています。その活動の10年の節目となる記念演奏会にこめる想いを中島さんにお聞きしました。

「松川吹奏楽団には多くの主婦の皆さんが活動されていますが、それには家族の方達の大きな理解と応援があつてこそ。楽団としても多くの皆さんの協力で感謝しております。10周年記念の演奏会は全ての皆様への感謝の気持ちを込めて行いたいと思います。」

6月27日松川町町民体育館での演奏会で、その感謝の想いを全身で感じとって下さい。30分くらいまでが一番よく見られるそうです。

小さな瞬きで一瞬にして人々の心を魅了するほたるの光。そこには、多くのひとの手

が加わり、自然豊かな松川を残したいという思いが凝縮されているからこそ、より一層輝いて見えるのかもかもしれません。

ほたるの美しい光を眺めながら自然の素晴らしさを感じてみてはいかがでしょうか。

こぼれ詩

一年生

中央小5年 北澤せな

新しい朝

新しいランドセル

新しいいくつ

新しい教室

新しいロッカー

新しい友達

新しい先生

そして今日は入学式

何もかも新しい一年生

はりきっている

かみを切った

中央小5年 高田則生

最近

かみの毛を切った。

何だか きんちようした。

切っている時、

鼻に毛がついて

かゆかった。

切り終わったら

すっきりした。

今の時期に合う

かみがたになった。

俳句

雑

矢沢さち子 (東浦)

紙衣かみぎぬをはすせば雑雑の息づかい

四代の女そらいて雑雑かざる

伸びきってクレインのさぐる春の空

幣束へいそくに春光まとい地鎮祭

おそ霜の闇に点火の人動く

短歌

折り込み広告

中 千恵 (北垣外)

スパーの折込み広告念入りに見て買物する値上げつづきて

骨密度予想より低い値にて

太陽浴びて庭草を抜く

掬すくい来し金魚も水に馴染みてか群にまじりて池を彩る

過疎となりしわが故里は

養蜂のさかんとりて蜂の飛び交う

我病めば娘等集い来て連休を

ご御馳走つくりにぎわいて過ぐ

声

自然豊かな松川で

北林 大輝

私が福祉の道に携わりたいと思っただけは、小学校の時に参加したボランティアでした。最初は、友人が参加していたからという些細な理由でしたが、参加する内に高齢者や障害者のパワーに驚き、少しでも力になりたいと思うようになりました。

高校卒業後は、福祉の知識をもっと深めたいと思い、日本福祉大学に進学しました。現在、私は、松川町にある障害者支援施設親愛の里松川で生活支援員をさせて頂いています。ご利用者一人ひとりと向き合うことは簡単なことではありませんが、先輩の職員やご利用者の方々から多くのことを学び私自身も日々成長できる現場だと思っています。



町の古民具 ⑤⑥「ゼンマイ式ハエ取り器」

ゼンマイを動力としたハエ取り器。砂糖などのエサを置いた円盤を低速で回転させ、箱の中にハエを取り込んだ。入ったハエをどうしたのだろうなどと、想像をかき立てられる。



北林大輝さん

まだまだ勉強不足ではありますが、これからもより知識

新社会人になって

今までは、学生で自分の事ばかり考えて暮らしてきましたが、時が経つのも早く、社会人として、J Aみなみ信州松川支所でお世話になる事になりました。

働くという事に対しては、期待もありますが、不安の方が大きいというのが素直な気持ちでした。毎日、毎日仕事に行けるのか、何をすれば良いのか、お客様に言われた事をきちんとやりとげる事ができるかなど、基本的な事から経験してこなかった環境や、働くという事の義務、責任など慣れない事ばかりでした。しかし、一ヶ月間勤め不安も消えてきました。松川支所の上司の方、先輩の方々に教えていただき、だいぶ仕事も覚えてきました。また、周りの方々の温かさを感じ、とても働き

北林 道紀

や経験を深め、言葉で表現できるものだけでなく、言葉で表現できない思いや願いにしっかりと耳を傾け、ご利用者一人ひとりに向き合った支援を目指していきたいと思っています。

やすい環境になりました。

地域の方とも接する機会も多くなり、生まれ育ったこの松川町で働ける幸せを感じています。

社会人としての本番はこれからですが、早く仕事を覚え地域の方には名前、顔を覚えていただき、一人前の職員になりたいと思います。

社会人というものは、いつも義務や責任があります。自分だけではなく、周りの方にも迷惑をかけます。これからは、自覚を持ち、みなさまの役に立てるようがんばりますので、よろしく願っています。



北林道紀さん

草

◎農作業補助員募集◎

〔仕事内容〕休耕田の草取り作業、堆肥作り

〔資格等〕足腰が丈夫で食欲旺盛な方

〔その他〕食事は現地で支給

◎害獣駆除作業員募集◎

〔仕事内容〕田畑に出没する鹿・猪・猿及び熊の駆除

〔資格等〕狂犬病予防接種済者に限る・狩猟経験者優遇

〔その他〕食事・散歩付

◎警備員募集◎

〔仕事内容〕春夏は御蚕様の警備、秋冬は倉の警備他

〔資格等〕毛色は問いません。げっ歯類逮捕術に自信のある方を希望

〔その他〕住居・食事は勤務先で用意します。カツオブシ支給あり
：新聞に妙な求人広告が、思ったところで「ドストス」「ガリガリ」目が覚めました。我が家で雇っている警備員その1が布団の上で足踏みをしており、警備員その2は部屋の壁で爪とぎをしていました。朝食の催促です。

私はキャットフードを盛り付けながら「彼らの雇用安定のためにも資金調達(賃金労働)に励まねば」と決意を新たにしました。

(三島真理子)

公民館報

「まっかわ」

第 559 号

平成22年5月15日

発行所 松川町公民館
責任者 塩澤三佳
編集人 公民館編集部

Tel 36-2622

e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp

飯田市上郷黒田121

印刷所 龍共印刷(株)